

いのちを守るために大切なこと～情報モラル特別授業～

4月20(月)4校時、大津署スクールサポーターの國武様を講師としてお迎えし、SNS講話として「情報モラル特別授業」を全校で行いました。実際に起こっているトラブル事例を挙げ、具体的な被害や対策の仕方等を説明していただきました。生徒を代表して生活委員長の窪田千愛莉さん(3-5)が「SNSはとても便利なもので、正しく使えば生活を豊かにしてくれますが、使い方次第では、「加害者」や「被害者」になってしまう危険性があるということを学びました。今後は、SNSは様々な危険性があると理解した上で、正しく使っていきたいと思います。」と謝辞を述べました。

私たち大人も含め、スマートフォンを通した向こう側のインターネットの世界とは正しく付き合わなければならない、と改めて感じた時間となりました。

①安全なインターネットの使い方

- ・フィルタリングや「ウイルス対策」が必要を行うことが大切です。SNSで被害にあった児童の約9割が被害時にフィルタリングを利用していなかったことが判明しています。

②使い方をコントロールしよう

- ・ネットが時間を奪っていく、お金にも気をつけることが大切です。
- ・2018年、WHO(世界保健機関)は、「ゲーム障害」を病気として認定しています。

③SNSの危険性について

- ・児童ポルノ(送らない、共有しない)
- ・なりすまし(ネットの相手を信用しない)

④ルールを作る理由

- ・インターネット上で皆さんが出会う人たちが、皆さんの周囲にいる本当に信頼できる大人や友人みたいにいい人ばかりなら良いのですが...残念ながら現実はそうではありません。ネット上には悪い人もいます。



4月の生活目標「大きな声で爽やかな挨拶」

4月の生活目標は「大きな声で爽やかな挨拶」です。挨拶は相手への敬意と安心感を示し信頼関係づくりと円滑なコミュニケーションや情報共有や協力関係が生まれやすくなるとされています。

毎朝正門付近で生活委員と挨拶運動をしているのですが、朝から元気がなく、挨拶を返さない生徒も見られます。登下校の際に地域の方や先生方、友人に爽やかな挨拶を心がけほしいと思います。また、授業開始時や終了の挨拶などクラスでも大きな声でさわやかな挨拶をして交流を深めてほしいと思います。ご家庭でもご指導よろしく願いします。

令和8年度 生活目標

4月

具体的取り組み

1. 学校の廊下や教室の先生方、友人に爽やかな挨拶をしよう。
2. 挨拶を返さなければ、相手も嫌な気持ちになる。
3. 挨拶を返さなければ、相手も嫌な気持ちになる。
4. 挨拶を返さなければ、相手も嫌な気持ちになる。



大きな声で
爽やかな挨拶

菊陽町立菊陽中学校